

テーマ

第二次・鳥取県の名水に関する調査研究

発表者

○十倉 毅 鳥取環境大学 環境情報学部 建築・環境デザイン学科 教授

概要 地域環境の良さは、水と密接な関係にあり、水への関心は「地域の活性化、観光資源の発掘、余暇の有効利用のみならず、当該地域の歴史・文化の保存・継承」の面でも大きな役割を果たすと考えられる。2008・2009 両年度にわたって実施した本調査研究は、2003 年後期より実施してきた調査内容の再確認、および新規調査であり、2009 年度末までに県内 48 ヶ所を「名水地」として、選定した。

『目的』 本調査研究の目的は、2004 年度鳥取県環境学術研究振興事業「鳥取県の名水に関する調査研究」以降の調査結果を再確認するとともに、一部追加調査をおこない、県民に最新の水場情報を提供することにあつた。

『方法・手法』 今回の調査方法は、これまでと同様、各水場における管理状況の把握、および下記①～⑫の水質検査であり、これらの調査結果を相互評価することにより、「管理状態がよく、誰でも汲め、飲める水場」を名水地として定義、地図上に示した。また、2008 年度後期からは、湧水地の GPS 測定（緯度・経度・高度）を追加した。

質検査項目:①濁度 ②色度 ③臭気 ④味 ⑤水素イオン濃度 ⑥亜硝酸態窒素 ⑦全硬度 ⑧残留塩素 ⑨鉄 ⑩亜鉛 ⑫4週後の水質外観検査(恒温槽 20℃で養生)

『調査結果』

【 鳥取県の名水 48選 】



『まとめ』 両年度にわたって調査し、県下の水場 114 ヶ所のうちから「鳥取県の名水 48 選」を選定した。

【ライセンス情報】 発明の名称: 発明者:

【産業界へのメッセージ】 本調査研究を通じて、多数の水愛好者の存在を知りました。が、一方では、過疎化する地域の水場もあり、案内板・水場の整備・パンフレット作成など、行政による支援も必要のように思います。

連絡先: 鳥取環境大学 建築・環境デザイン学科 教授 十倉 毅
鳥取市若葉台北1丁目1-1 TEL. 0857-38-6772 E-mail: t-tokura@kankyo-u.ac.jp

分野	環境	プレゼンタイム	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
----	----	---------	---